



概要

チャレンジ2020ビジョンで掲げた当社グループの成長の柱となる事業への成長を目指し、海外拠点・人員の拡充を推進するとともに、豪州、北米および東南アジア地域におけるLNGや天然ガス関連事業に参画してきました。今後もさらなる事業展開の検討を行っていくとともに、経営資源を効率的に配分し、展開していきます。

強み

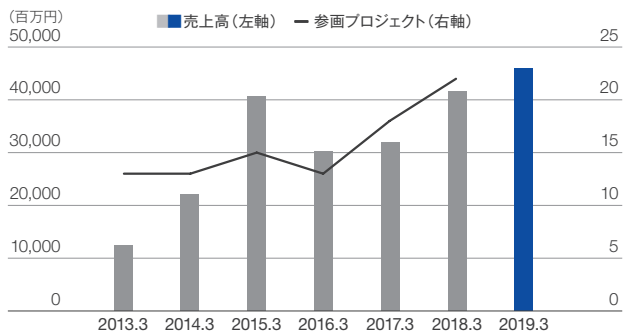
- 国内で培った中下流事業に関するノウハウ
- 原料調達活動や事業参画等において得られたグローバルネットワーク

リスク

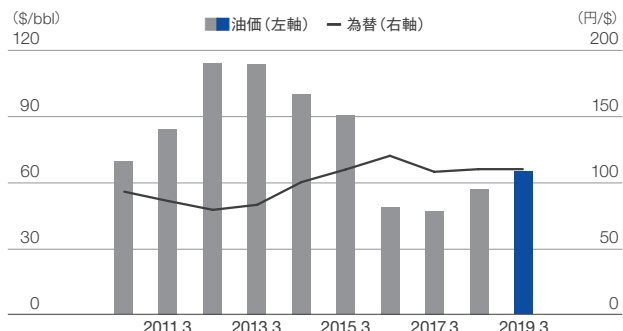
- 各国固有の法規制や商習慣への対応等による事業運営の停滞、費用負担増
- 海外事業全般における、原油・ガス価格および外国為替相場の変動による収支への影響

売上高	セグメント利益
415億円	77億円
2018年3月期	2018年3月期

売上高・参画プロジェクト数



油価・為替



「LNGバリューチェーンの構築」を目指します

参画プロジェクトと拠点

- 上流事業
- 中下流事業
- 拠点

エンパイア  
パースボロ  
コーポポイントLNG  
東テキサス  
バーネット  
イーグルフォード  
パビオ

■ TGESアメリカ  
■ 東京ガスアメリカ  
● MTファルコン

Message  
東京ガスアメリカ社  
長井 望

米国テキサス州ヒューストンに拠点を置く東京ガスアメリカに2015年から駐在しています。これまでシェールガス事業の新規投資案件の開発を担当してきましたが、2017年からは当社が株式を取得したシェールガス事業会社キャッスルトンリソースズ社(CR社)に出向し、半年間シェールガスの開発現場を経験しました。

現場では長さ5千メートルの井戸を効率良く掘削する難しい技術が求められます。当社には知見が少ない分野でしたが、この道何十年のプロばかりの中でも懸命に取り組み、目に見えない地下深くで起きていた掘削トラブルの原因をデータを駆使して特定することができました。結果、効率的な掘削に寄与できたことは大きな喜びでした。

現在はCR本社にて埋蔵量評価や開発コストの分析を行うとともに、米国企業の文化、組織体制、コストダウンの取組みなども学んでいます。今後は出向で得た経験をもとに、当社米国事業、ひいては当社海外事業のさらなる発展に貢献してまいります。

## グローバルな総合エネルギー事業者としての発展を目指します

国内外で培ったLNGバリューチェーンに関わる経験を活かして、エリアごとの特性に応じた事業を深化・拡大させつつ「LNGといえば東京ガス」というポジションを高めていきます。

また、中下流を中心としたボラティリティが小さく安定的なリターンが期待できる、エネルギーインフラ構築に資する案件等への投資を進め、エネルギー価格変動影響を低減したポートフォリオの構築を目指すとともに、既存案件の付加価値向上も進めていきます。

さらに、今後の需要拡大が見込まれる浮体式LNG受入基地や再生可能エネルギー等、次なる事業分野への取組みや、市場の成長と自社の強みの発揮を見込むことができる次なるエリアへの展開を視野に入れていきます。

当社グループの海外事業展開は、9か国、13拠点となっており、過去1年間で、参入機会が豊富な北米および天然ガス利用が拡大している東南アジア地域において5つの案件への参画を決定しました。

	北米	東南アジア	豪州
上流事業	■既存案件の運営・管理 ■新規案件の発掘	—	■既存案件の運営・管理
中下流事業	■ガス火力発電事業 ■新規案件の発掘	■LNG基地事業 ■ガス火力発電事業 ■ガス供給事業 ■エネルギーサービス事業 ■新規案件の発掘	—
事業拠点	東京ガスアメリカ ヒューストン TGESアメリカ サウスカロライナ州 アカリオ・ベンチャーズ シリコンバレー	東京ガスアジア シンガポール バンコク事務所 タイ ジャカルタ事務所 インドネシア ホーチミン・ハノイ事務所 ベトナム マニラ事務所 フィリピン クアラルンプール事務所 マレーシア	東京ガスオーストラリア パース・ブリスベン その他 パリ事務所 フランス

### 北米

エネルギー需要が大きく、天然ガス市場の長期的な成長も見込むことができ、自由化やエネルギーの市場取引が進んでいる北米においては、上流事業、中下流事業への参画を継続します。

将来的には、個々の事業の相乗効果を高めることも目指すとともに、今後の国内外の事業に資するノウハウを獲得・活用しつつ、収益基盤を確立していきます。



パースボロ発電所(建設中)

**上流事業** 資源価格の動向を注視しつつ、ガス田の生産性・埋蔵量を慎重に確認しながら、経験あるオペレーターと提携し、優良資産へ投資していきます。当社はこれまでに、3つの米国ガス開発事業に参画しました。

プロジェクト	参画時期	出資比率
米国 バーネット・シェールガス開発事業	2013年3月	25%
米国 イーグルフォード・シェールガス開発事業	2016年6月	25%
米国 東テキサスガス開発事業	2017年5月	30%

**中下流事業** ガス発電事業については、電力需給や他電源との競合状況、州ごとの規制や事業環境を踏まえ、参画案件を厳選していきます。近年では米国の大きな需要地である東海岸の2つのガス発電事業に参画しました。

プロジェクト	参画時期	出資比率
メキシコ 天然ガス火力発電事業(パヒオ発電所)	2004年10月	49%
メキシコ 天然ガス火力発電事業(MTファルコン発電所)	2010年6月	30%
米国 産業向けエネルギーサービス事業(TGESアメリカ)	2015年2月設立	100%
米国 天然ガス火力発電事業(エンパイア発電所)	2016年10月	25%
米国 天然ガス火力発電事業(パースボロ発電所)	2017年4月	33.33%

## 東南アジア

## 東南アジアにおける拠点



**中下流事業** LNGの輸入・天然ガス利用が拡大する見込みのあるアジア諸国において、当社のLNG・天然ガスの利用に関する知識・経験を生かし、天然ガスインフラ整備に貢献するべく、天然ガスエンジニアリングから運営ノウハウ・省エネサービスまで東京ガスグループとして幅広い価値を提供していきます。具体的には、今後各国で進められるLNG基地・発電等のエネルギーインフラを構築するといったハード面での参画だけではなく、需要開拓（デマンドクリエーション）、LNG基地オペレーション、LNG調達などのソフト面においても貢献していき、LNGバリューチェーン全体に関与し存在感を高めていきます。

2017年にはベトナムとインドネシアにおけるガス配給事業への出資、2018年にはタイにおけるガス配給事業会社への出資を決定しました。エンジニアリング分野としては2017年にバングラデシュのLNG受入基地に関するフィージビリティ・スタディおよびエンジニアリング業務、2018年にはタイのLNG受入基地の建設工事におけるプロジェクト・マネジメント・コンサルタント業務を受注しました。



## Message

バンコク事務所

Manakan  
Lertsamattiyakul  
(マナカン ラートサマッティヤクン)

急速な経済成長のなか、天然ガス需要の高まりやLNG輸入の拡大が見込まれる東南アジア等の国々において、各国政府・企業とも連携してエネルギーインフラの構築・天然ガス導入に貢献していきます。

具体的には、LNG基地事業、ガス火力発電事業、ガス配給事業、エネルギーサービス事業といった中下流事業に取り組んでいきます。2015年に開設したインドネシア・タイ・ベトナムに加え、2017年4月にフィリピンに拠点を設立しました。

将来的には、東南アジア地域での「LNGバリューチェーンの構築」を目指します。



ジャカルタ事務所

プロジェクト		参画時期
フィリピン	LNGバリューチェーン構築に関する 関心表明書の提出	2017年10月
ベトナム	ガス配給事業会社への出資および 戦略的アライアンス締結	2017年7月
タイ	Nong Fab (ノンファブ) LNG受入基地建設 におけるPMC業務の受注	2018年1月
タイ	ガス配給事業会社への出資	2018年1月
インドネシア	ガス配給事業会社への共同出資	2017年10月
バングラデシュ	LNG受入基地に関する業務の受注	2017年7月

現在、タイ政府は天然ガス市場の自由化・第三者参入促進を推進しており、外資を含む民間企業の市場参入が期待されています。そのため、私は政府機関や他民間企業との面談を通じて、政策・規制動向や他社活動状況等のエネルギー関連情報を収集し、東京本社や東京ガスアジア社(シンガポール、エリア統括)に報告する役割を担っています。2018年1月には民間初となるガス配給事業に参画しましたが、外部からの問合せも多く、ガス小売事業への関心の高さが窺えます。タイは2011年に東南アジアで最初にLNGを導入した国ですが、国産ガスの枯渇を背景に今後もLNG輸入のさらなる拡大が見込まれており、政府関係者を中心に当社のLNG基地に関するヒアリングや基地見学の希望を多くいただいています。私自身は発電分野の経験が長くLNGの世界は初めてでしたが、こうした機会を通じてLNGバリューチェーン全体を幅広く学び、タイと日本との架け橋としての役割を果たしていきたいと考えています。



## 既存プロジェクトの運営・管理に注力していきます

### 豪州

#### 参画プロジェクトと拠点



**上流事業** 東アジアへの一大LNG供給地として成長を遂げた豪州においては5つのプロジェクトに参画、既に4つのプロジェクトが稼働しています。今後稼働を控えるイクシスプロジェクトを含め、5つの保有資産の価値最大化に向けた運営・管理に引き続き注力していきます。



ゴーゴンLNGプロジェクト



東京ガスオーストラリア(パース)

プロジェクト	LNG生産能力	参画時期	出資比率	生産(稼働)開始時期
ダーウィン	300万t/年	2003年	3.07%	2006年1月
ブルート	470万t/年	2008年	5.00%	2012年4月
ゴーゴン	1,560万t/年	2009年	1.00%	2016年3月
クイーンズランド・カーティス	850万t/年	2011年	1.25% (ガス田) / 2.50% (第二液化プラント)	2014年12月
イクシス	890万t/年	2012年	1.575%	2018年(予定)

#### Sustainable Development Goals

##### 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成への取り組み

##### 東南アジアにおけるLNGバリューチェーン構築への挑戦

- 2017年7月にベトナム、同年10月にインドネシア、2018年1月にタイのガス配給事業会社に出資を行いました。また2017年10月には、フィリピンに対してLNGバリューチェーン構築に関する関心表明を行いました。
- 当社が保有する技術・ノウハウを生かしたエネルギーソリューションやインフラ構築により、クリーンな天然ガスを普及していきます。また、現地での事業を通じた雇用創出、経済発展への貢献が、教育機会の増加、格差解消につながっていくことも期待されています。

